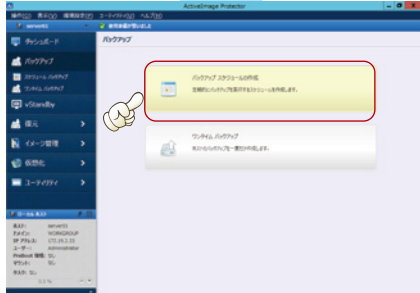


簡単バックアップガイド

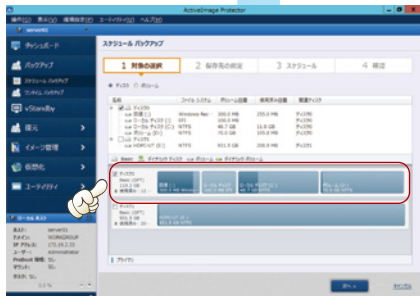
～バックアップ編～



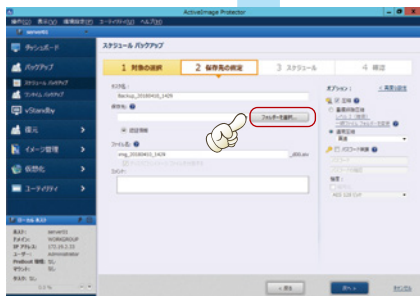
1 【バックアップ】⇒【バックアップスケジュールの作成】をクリックします。



2 バックアップ対象のディスクを選択し、【次へ】をクリックします。



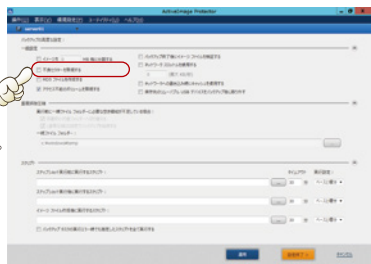
3 バックアップ保存先を設定しますので、【フォルダーを選択】をクリックします。



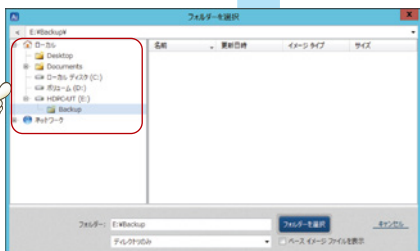
《高度な設定》

【2 保存先の指定】の【高度な設定】をクリックして表示される画面では、不良セクターを無視したり、ネットワークへの書き込み時にキャッシュを使用する設定が行えます。

【不良セクターを無視する】
不良セクターがあるハードディスクでもエラーにならずバックアップが作成できます。普段のスケジュールで設定を無効にすることで、ハードディスクの状態を確認することも可能です。(エラーになれば、不良セクターがあることが確認できます)



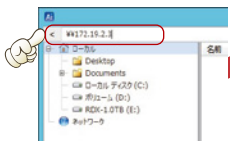
4 バックアップの保存先フォルダーを選択し、【フォルダーを選択】をクリックします。



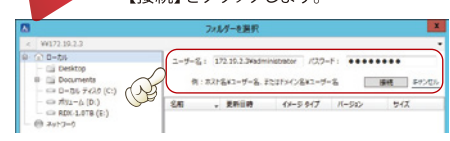
新規フォルダーを作成する場合は、右クリックし、メニューから【フォルダーの新規作成】を選択してください。

《共有ネットワークの場合》

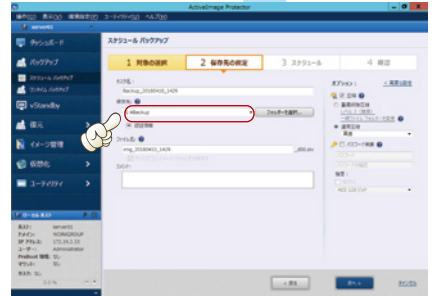
① 共有ネットワークに保存する場合は、左上のボックスに『¥¥¥IPアドレス』を入力し、[Enter] キーを押します。



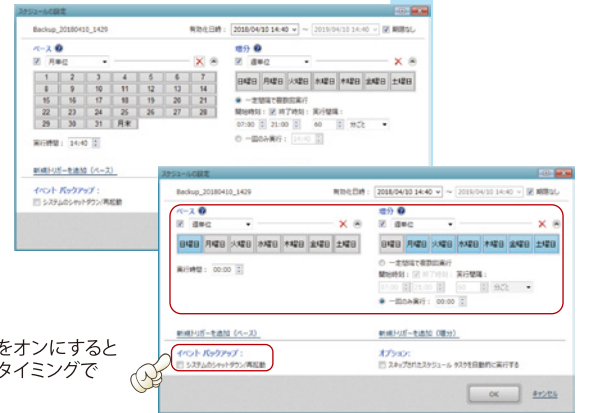
② 右上に共有ネットワークへ接続する『ユーザー名』と『パスワード』を入力して【接続】をクリックします。



5 保存先を確認し、【次へ】をクリックします。

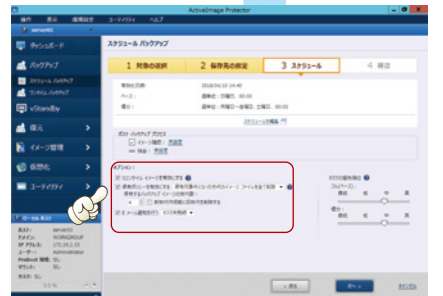


6 実行する曜日や時間など、スケジュールを設定して、【OK】をクリックします。



【システムのシャットダウン/再起動】をオンにするとマシンがシャットダウン/再起動するタイミングでバックアップを作成します。

7 【オプション】項目を設定して、【次へ】をクリックします。



【保有ポリシーを有効にする】をオンにすると、世代管理(ベース<完全>バックアップファイル数)を設定できます。

《Eメール通知設定》

Eメール通知設定は【環境設定】⇒【Eメール通知設定】で行います。

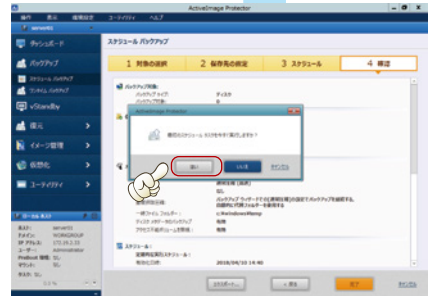


※ バックアップスケジュール設定中でも表示することができます。

8 概要を確認して、【完了】をクリックします。



9 今すぐ実行するか確認メッセージが表示しますので、【はい】をクリックすると、ベース(完全)バックアップの作成が実行されます。



10 作成が完了したら、終了です。

